

## 特別栽培米を収穫

広野町で平成28年産の特別栽培米が収穫されました。特別栽培米とは、農林水産省の「特別栽培農産物に係る表示ガイドライン」に沿って栽培された米のことをいいます。具体的には、一般的な栽培方法から化学合成農薬の使用回数および化学肥料の窒素成分量が50%以下で作られた米のことです。広野町は、昨年度から「米作り農家応援事業」として、ふるさと応援寄附金30,000円以上の寄附者に特別栽培米1俵（60キログラム）などをお届け

けています。今年度（受付期間は終了）は、11月初旬から順次発送しています。



特別栽培米の収穫の様子

## 平成28年産米の全量全袋検査

9月29日から、福島さくら農業協同組合稲葉低温倉庫で平成28年産米の全量全袋検査を開始しました。検査については、「米の作付等に関する方針（平成28年2月29日農林水産省公表）」、「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方（平成28年3月25日原子力災害対策本部）」および平成28年3月25日付原子力災害対策本部長指示に基づき、実施しています。

米の全量全袋検査は、今年で5年目を迎えますが、平成27年産米は全て基準値以下でした。県産米が円滑に流通するためには、消費者や米を利用する事業者の皆さんに、県産米への安心感を持っ

てもらうために努力する必要があります。消費者や事業者の皆さんからは、この検査について、「検査をしているから安心して買える」と大変高い評価を受けています。今年度も継続して全量全袋検査に取り組みますので、皆さんのご協力をお願いします。



全量全袋検査の様子

## 「町長への手紙」平成28年度上半期実績報告

平成28年度から町長への手紙事業を開始しています。この事業は平成27年度まで開催していた町長との懇談会に代わる事業で、役場までご足労いただく代わりに「町民の声」をじかに町長に届けるための事業です。

広報ひろのに隔月で町長への手紙の様式を織り込んでおり、平成28年10月1日時点で延べ16通のお手紙を頂戴しています。うち、回答を必要とする12件のうち、7件について既に回答書をお送りしています。

内容としては、防災行政無線に対するご要望、町営住宅自治会に関するご要望、住民説明会のご要望、学校の部活動に対するご要望などを承りま

した。なお、現在、担当課で現場確認などを行っている案件が5件ございます。お手紙の内容によっては、各担当課で確認し、可能なものを調整、実施していますが、やむを得ずお時間をいただく場合もございます。

ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

### （参考）

町長への手紙受付件数	： 16件
要回答	： 12件
回答済み	： 7件
現場確認、調整中	： 5件

# いざという時に備えて

## — 福島県原子力防災訓練・広野町津波避難訓練を実施 —



避難所等開設訓練

小野町体育館で避難所および避難中継所の開設と避難者の受け入れ訓練を実施

10月22日、広野小学校体育館と小野町体育館をメイン会場として、平成28年度福島県原子力防災訓練および広野町津波避難訓練を実施しました。これは、大規模地震に伴う原子力災害を想定し、速やかに広域避難ができるよう訓練を実施したものです。

訓練は、町内にお住まいの方、下浅見川・下北迫の

津波浸水区域の方、いわき市内仮設住宅などにお住まいの方の3コースに分かれ、町が災害時応援協定を結んでいる田村郡小野町の協力を得て、津波避難訓練、広報訓練、町民避難訓練、住民輸送訓練、スクリーニング訓練、避難所等開設訓練が行われました。

### 津波避難訓練

下浅見川・下北迫の津波浸水区域の皆さんが築地体育館へ避難する訓練を実施



### 災害対策本部設置訓練

大規模地震に伴う原子力災害を想定し、災害対策本部の迅速な設置および運営が図られるよう訓練を実施



### 原子力避難一時集結訓練

広野小学校に一時避難する訓練を実施



### 広報訓練

町職員が広報車や防災行政無線などを活用し、町民の皆さんへの避難広報を実施



### スクリーニング訓練

避難の際に汚染状況を確認するため、車両や避難者のスクリーニング検査を実施



### 住民輸送訓練

自家用車で避難が困難な場合を想定し、バスで小野町に避難する訓練を実施

